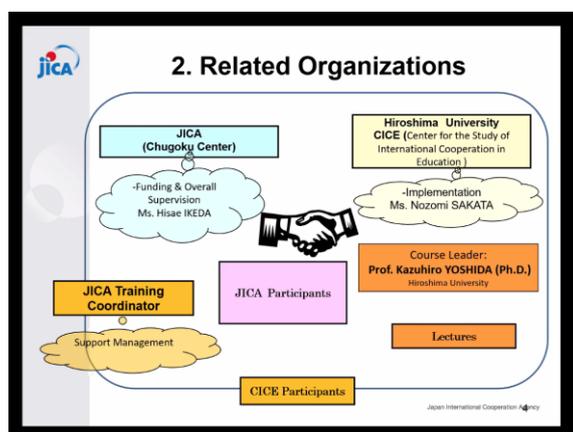


1月12日（火）

CICE と JICA（国際協力機構）との協働で開催される「JICA 研修」がスタートしました。本プログラムは”Capacity Development for the education policy formulation and analysis for learning improvement（学びの改善をめざした教育政策立案・分析のための能力開発）”という目的のもとに、世界各国の研修員が教育政策についての学びを深める研修会です。

昨今の社会状況を踏まえて、例年とは異なり、Google Classroom と ZOOM を用いたオンライン上での開催という形で実施されました。

まずは JICA 研修プログラムスタッフの進行のもと、イントロダクションとして研修員同士の自己紹介が行われました。次に、CICE センター長の吉田先生から、研修の概要や注意事項の説明が行われました。具体的には、関係者各位の紹介、Knowledge Co-Creation Program(KCCP)に関する説明、プログラムのアウトラインについての説明、評価方法についての説明といった内容のお話がありました。



そこでは、参加者に対し、本プログラムの肝である KCCP の重要性について繰り返し説明されました。研修員各自の「学び」「問い」「答え」を参加者全体と共有することによって、相互交流による学習の相乗効果を生み出し、個人の学びが同僚・参加者・ステークホルダーといった全体の学びへと昇華させることができます。

最後に、プログラムのスケジュールや実施方法について説明がありました。例年と異なり、まず Google Classroom 上にアップロードされたレクチャービデオや課題に各自が取り組みます。その後は ZOOM 上で、参加者同士の少人数セッションや全体でのディスカッションといった形の、双方向での活発な研修内容に移行する形式になります。

初めての試みのため、技術的な障害や細かなアクシデントが発生しましたが、スムーズなオリエンテーションが実施されました。